

このたび、札幌交響楽団に入団してから10周年を迎えるにあたり、かねてからの念願であった札幌でのリサイタルを企画いたしました。共演のピアニスト・入川氏とは大学時代から数多くの演奏を重ね、2025年にはデュオ結成20周年の節目を迎えます。これを機に、私たちのデュオに「ゴージュ」（フランス語で「不器用」の意味）という名前を付けました。今回のリサイタルでは、私たちのライフワークであるベートーヴェンのソナタや、シューマンがチェロとピアノのために残した唯一の作品をはじめ、PMFの創設者であり札幌とも縁の深いバーンスタインの作品、そして同時期にアメリカで活躍したエリオット・カーターの作品を取り上げます。

「不器用」な私たちではありますが、音楽へのひたむきな想いを込めて、円熟期を迎えつつあるチェロとピアノのアンサンブルを札幌の皆様にお届けできれば幸いです。

小野木 遼



Profile

小野木 遼（チェロ）

北海道北見市出身。東京芸術大学を経て、同大学院修士課程を修了。PMF2007に参加。第10回ピナホールチェロコンクールにて特別賞(井上賞)受賞。メルボルン国際アジア・パシフィック室内楽コンクール第2位。サントリーホールチェンバーミュージックアカデミー1.2期生。

ラデク・バボラークやマリオ・ブルネロ、竹澤恭子など一流のアーティストと室内楽を共演。2016年にリスト音楽院セミナーにて最優秀受講生に選出され、2017年にブダペスト春の音楽祭にてリサイタルを行う。札幌交響楽団とショスタコーヴィチのチェロ協奏曲を共演。

NHK「ベストオブクラシック」「クラシック音楽館」等メディアにも多数出演。ALBA STRING QUARTET、Cello Ensemble XTCメンバー。

2015年より札幌交響楽団チェロ奏者。
札幌大谷大学、同高音楽科非常勤講師。

入川 舜（ピアノ）

静岡市出身。東京芸術大学音楽学部ピアノ科卒業、同大学院研究科修了。文化庁海外派遣研修員として、パリ市立地方音楽院とパリ国立高等音楽院修士課程でピアノ伴奏を学ぶ。高瀬健一郎、寺嶋陸也、辛島輝治、迫昭嘉、A・ジャコブ、J-F・ヌーブルジュの各氏に師事。

「静岡の名手たち」オーディションに合格。神戸新聞松方ホール音楽賞、青山バロックザール賞を受賞。

日本人作曲家の作品を蘇らせたCD「日本のピアノ・ソナタ選」(MTWD 99045)、また「ゴルトベルク変奏曲」(MTKS-18341)のソロ録音CDがある。2011年デビューリサイタルを開催。

以後も、ドビュッシーのエチュード全曲など、意欲的なプログラムでリサイタルを行う。

2021年には東京文化会館にてジェフスキの「不屈の民衆奏曲」他によるリサイタル（日本演奏連盟による主催）を開催。2022年のバッハの「ゴルトベルク変奏曲」演奏会が、第32回青山音楽賞を受賞した。

現在、幅広いジャンルで活動中。オペラシアターこんにゃく座のピアニストを2018年より務める。東京、渋谷の美竹サロンにて、「バッハを辿る」コンサートシリーズを継続中。日本演奏連盟会員。

公式ホームページ：<https://shunirikawa.work/>

Access



六花亭 札幌本店

ふ・きのとうホール

JR札幌駅南口から徒歩3分
(専用駐車場はございません)